

今週の動き 3月27日-4月2日

- 27 くらしの相談(介護保険)
- 28 社会福祉法人理事会
- 29 地域要望現地調査(頓野地区)
- 30 くらしの相談(多重債務整理)
- 31 年度末あいさつ(市役所)
- 1 くらしの相談(道路側溝整備)
- 2 くらしの相談(定額減税、給付金)



# 渡辺かずゆき 活動レポート 127

**日本共産党**

日本共産党直方市委員会が、見解を発表しましたので紹介します。  
2025年4月6日 直方市溝堀3丁目3-32 電話(22)5011 FAX (22)3810

◆直方市議会3月定例議会は3月13日に最終本会議が行われ、新年度予算案などすべてが可決され閉会しました。渡辺かずゆき市議が行った一般質問、議案質疑などを順次紹介します。

## 高齢者等終身サポート事業について 一人暮らしの高齢者世帯への支援を

直近の国勢調査(令和2年)では、直方市の高齢者単身世帯が全世帯の16.6%、高齢夫婦のみの世帯は、14.1%で合わせると高齢のみ世帯が30%を超えており、高齢者は、病院の入退院や施設入所の手続きや保証人の問題など、必要な支援が受けられない状況が出てきている。

身近に頼れる親族等がない場合に、日常生活の支援や亡くなった後の葬儀や財産処分等の事務処理までを支援する「高齢者等終身サポート事業」を行う事業者が増えてきている。

【質問】直方市では、こうした高齢者の相談窓口はどこにあるのか、また、近隣にサポート事業を行っている事業者があるのか？

【市答弁】相談窓口は、市役所5階の「健康長寿課高齢者支援係」の地域包括支援センター(総合相談窓口)となる。高齢者等終身サポート事業を行っている事業者は、直鞍地域で1カ所、中間遠賀地域で1カ所、北九州市で2か所、福岡市で2か所となっている。

【再質問】実際にどのような相談があっているのか。サポート事業者に繋いだ例などがあるのか？

【市答弁】相談は今年度(令和6年度)で10件以上あった。事例として、医療機関から身寄りのない高齢者の身元保証や、死後委任事務についての相談があり、サポート事業者の情報提供を行い、契約提携へと進んだ例がある。中には、最終的に契約に至らない例もあった。

【再質問】直方市として、増加すると思われるこのような相談に対して現在の総合相談窓口の対応で十分なのか、福岡市のように、社会福祉協議会との連携で、専門的な窓口を作っていくのか、今後の対応についてどのように考えているか？

【市答弁】行政の力だけでなく、関係団体、民間事業者との連携が必要と考える。また、福祉行政を専門的に担う社会福祉協議会等と連携した体制をどのように整備するのか研究しながら引き続き検討を進める。



### 日本共産党市議団の見解

- ◆福岡市では、社会福祉協議会の中に「終活サポートセンター」を立ち上げて、亡くなった後の事に関する相談や実際の事務手続きの代行を行っている。
- ◆高齢者等終身サポート事業を利用できる方は、一定の資産を持った方しか利用できない実態がある。自治体や公的機関がサポートできる体制が求められる。社会福祉協議会等と連携した体制構築を早急に具体化する必要があると考える。